大正大学社会福祉学会

鴨台社事通信

第25号

2024.7.6

室友会役員との懇談会

第47回大会

わくわくまつり

合格だるまとパチリ

ゼミ合宿

大学院の授業風景

学位授与式

入学式

街歩き

災禍に学び地域共生社会を拓くこと

わが国の社会福祉史をたどれば、近代の社会事業から第２次世界大戦の戦禍を超えて現代の社会福祉に至るまで様ざまな災禍と向き合う100年史でした。その100余年前、大正大学社会事業研究室（以下、当研究室）が1917（大正６）年に創設されて間もなく、「スペイン風邪」によるパンデミックに苛まれた100年後の2019年（令和元年）末からの「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」の災禍を漸く超えてきました。加えて1923（大正12）年9月1日に発生した「関東大震災」より100年後の今年の元旦に「能登半島地震」の発災から半年になりますが、未だ遅々とした復興の歩みです。

こうした100年毎の災禍に見舞われた生活基盤を取り戻す努力に加え、新たに生起する多種・多様な福祉課題に向け、当研究室と学縁を結んだ多くの卒業生が果敢に取り組んできました。その活動を継承してきた大正大学社会福祉学会（以下、当学会）は、1937（昭和12）年に当研究室の開室20周年記念式典において発足した「鴨台社会事業研究会」が学会組織として再編を重ねながら現在の当学会になり、2027（令和9）年には「学会設立90周年」の節目を迎えます。当学会の90周年記念事業の先駆けとして昨年11月5日（本学創立記念日）に『新・社会福祉原論』を刊行しました。それに続き当学会の『90周年記念誌』の刊行や記念行事などを計画しています。

わが国の社会福祉100年史における災禍から真摯に学び、地域共生社会を拓くためには当学会が「トポス」となり、新たなイノベーションによる福祉実践の取り組みを共に積み上げていきたいものです。

2024（令和６）年７月６日　　大正大学社会福祉学会・会長　石川到覚

大正大学社会福祉学会 第48回大会のご案内

◎日程：2025（令和7）年2月11日（日）14時00分～18時00分【ハイブリッド開催】
◎大会テーマ：異業種連携によるソーシャルワークの未来（案）

○ 基調報告：「異業種連携によるソーシャルワークの未来（案）」
　講師：日本福祉大学　青木 聖久先生
○ 分科会
＊第1分科会：研究と実践の発表の場【研究成果（中間含む）】
＊第2分科会：多世代支援の地域福祉実践～社協活動【卒業生の実践の成果】
○ 全体会・懇親会
詳細は学会ホームページ（http://ohdai-sw.com/index.html）に随時掲載しますので、
引き続きご閲覧をお願いいたします。

卒業生紹介（1）

2006年度学部卒
2008年度大学院修了
丹羽　信誠さん

今の仕事はなんですか？

　私は現在、三つの仕事を兼務しています。一つ目は浄土宗法然寺の副住職。二つ目は社会福祉法人暁雲福祉会の理事、施設長、サービス管理責任者。三つ目はキヤノンウィンド株式会社の就労支援マネージャーです。先日、ここ十数年かけて取り組んできたことを評価して頂き、全国タイトルの「社会福祉HERO'S TOKYO 2023」にてグランプリを受賞しました。社会福祉従事者として、僧侶として、日々人々に関わる仕事を実践しています。

学生の頃の思い出はなんですか？

　私が在学時に一番成果を挙げたことは「室友会」を盛り返したことではないかと思います。当時、会員数の減少や会費の未納など課題がありました。私は事あるごとに壇上に立って会費納入を呼びかけ、入会者の確保に全力で取り組みました。先生方や仲間の応援もあり、「室友会」の認知度も高まり、会費未納ゼロ達成や学年ごとに会員も安定して増加するなど、一定の成果を残せたことは今でも良き思い出です。

これから目指していることはなんですか？

　地元大分県でこれからも社会福祉に携わる者として、僧侶として仕事を続けることに変わりはありません。ありがたいことに企業と共に障がい者の一般就労に取り組む現場や、行政や日本財団と共に地方創生に取り組む現場など日本の障がい者福祉をリードするモデルに直接携わっています。「協働」と「"できるかもしれない"を"できるに"」をテーマに、福祉現場の挑戦者で在り続けたいと思います。

室友会の活動報告

新入生ガイダンスでの活動紹介

新年度を迎え、室友会も新体制となってスタートしました。新入生ガイダンスでは新しく室友会の会員となった1年生に向けて社会福祉学科及び室友会活動の紹介を行いました。右の写真は当日使用した資料です。社会福祉学科の特色や大学のおすすめスポット、さらに室友会の説明及びこれまでの活動と今後の活動予定について話しました。ガイダンス後には多くの１年生が、室友会活動についてより詳しく知りたいと声をかけてくれ、10名以上が新役員となりました。非常に意欲的な学生が多く、今後一緒に活動できることがとても楽しみです。

６月21日には、新入生への歓迎の意を込めて、室友会主催の新入生歓迎会を開催しました。社会福祉学科に所属する1年生を招待し、軽食を取りながら、これからともに学ぶ仲間として学科や大学生活について色々と話をすることができました。

さらに６月23日には第1回オープンキャンパスが開催され、例年通り室友会の役員が、学科プログラムの手伝いをしました。今年も多くの高校生と交流できることを楽しみにしています。

他にも学習カフェや卒業生追い出しコンパ、募金活動など様々な活動を予定しています。社会福祉学科の学生がより充実した学生生活が送れるよう、今年度も活動していきます。

大正大学社会福祉学会 石川到覚会長との懇談会

当学会石川到覚会長との懇談会を開催、今後の室友会活動について多くの助言をいただきました。活動方針や組織運営、さらには過去の室友会活動など貴重な話をお伺いすることができ、非常に学びの多い充実した時間を過ごすことができました。室友会からは、社会福祉学科の在学生の現状や昨年度の活動報告などを伝えました。学会に所属する一員として、社会福祉学科及び学会に寄与することのできるよう、また社会福祉学科が学生にとって心地よい居場所となるよう、室友会一同、活動して参ります。

昨年度に引き続き能登半島地震の募金活動を行っており、多くの学生にご協力いただきました。集まった義援金は豊島区民社会福祉協議会を通して、能登半島地震復興のために寄付する予定です。新入生歓迎会など室友会の活動を通してさらに募金活動を行っていきたいと思います。

新型コロナ５類移行に伴い徐々に日常を取り戻し、昨年度から室友会の活動も本格的に始動しました。そのため今年度は新たな取り組みに挑戦したいと考えており、学科閲覧室を多くの学科生に利用してもらえるよう学習カフェを開催するなどの企画を予定しています。室友会の活動により、新たに迎えた1年生をはじめ学年を超えた交流の機会を増やしていきたいです。

（室友会室長　吉野　和香）

石川会長と室友会の懇談会

新入生歓迎会

SNSで情報発信中！！

TAISFUKUSHI

Twitter　Instagram

大正大学社会福祉学科の動向

令和6年度は、社会共生学部から人間学部社会福祉学科へと改組となりました。カリキュラムも社会福祉士・精神保健福祉士養成課程は主軸にしながらも、ソーシャルワーカー養成だけではない、人々の「ウェルビーイング」の実現に貢献できる人材養成に特徴を持った新カリキュラムが今年の入学生から始まりました。

DXの推進により、ソーシャルワーク実習や個別学修行動計画を積極的に導入し、社会福祉入門ではキャリアデザインをもとに主体的にキャリアを選択できるように学修支援し、基礎ゼミナールの教育内容も見直し、理論と実践の循環について学ぶことの重要性やまたその学びのあり方を検討して実行しております。

さて、令和5年度の卒業生も優秀な結果を残してくれました。社会福祉士は、合格率が82.5%から94.7%と大幅に上がりました。精神保健福祉士は合格率100%です。就職率も100%でした。頑張っている学生たちにそして、実習等で支えていただいている卒業生会員の皆様に心から感謝いたします。そしてこの傾向が、何年も続く様にしたいと思います。そのため会員の皆様の変わらぬご協力をお願い申し上げます。

社会福祉学科長　坂本　智代枝

人間学研究科社会福祉学専攻の動向

2023年度は、社会福祉学専攻初めての試みとして「院生のアカデミックスキルと研究方法向上プロジェクト」を実施し、全院生を対象にアカデミックスキルと研究方法の学修会を定期的に開催しました。院生たちはアカデミックライティングに参加し、その学びの成果を論文執筆などに活かしました。2024年度も引き続き学修会を開講し、院生たちの質の高い研究成果を社会に向けて発信していくことを期待しています。

専攻では、昨年度２名に修士の学位を授与し、今年度は留学生３名、社会人１名の大学院生を迎え、博士後期課程に向けての研究生4名、社会人の科目等履修生２名、豊島区民社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカー１名（秋学期の予定）を受入れ、在院院生4名を含め、合計15名が研究に励んでいます。

昨年度は、専攻と大正大学社会福祉学会との共催で、「子ども家庭福祉の動向と近未来のソーシャルワーカーの課題」をテーマに開催しました。研究大会は、修了生の研究成果を発表する場となり、交流と研鑽の機会にもなっています。今後とも皆さまのより一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

社会福祉学専攻長　金 潔

大正大学社会福祉学会事務局
〒170-8470　東京都豊島区西巣鴨3-20-1
大正大学社会福祉学科事務室内
TEL 03-3918-7311〔内線5796〕
FAX 03-5394-3057
MAIL　info@tais-shafuku.sakura.ne.jp
事務局長：熊澤 利和　事務助手：赤坂 真樹

大正大学社会福祉学研究室
ホームページ・ＱＲコード：
http://ohdai-sw.com/index.html

大正大学社会福祉学会
マスコット　ぶくまる